

# 「大阪のホームレス問題に抜本的対策を」 ～ホームレスの自立と青テントの全廃を目指して～

## (1) 問題認識 ～今、何故ホームレスなのか～

景気はようやく回復傾向にあるが  
ブルーテント問題は深刻化。  
全国で2万5千人（平成15年現在）もの  
ホームレス生活者が。  
ホームレス問題は経済政策の谷間に生じた事象で  
セーフティーネットの欠落に起因。  
国は財源に国費を充当するなど責任を持った対応を  
すべき。  
大阪市も実効ある支援策を早急に立案すべき。  
問題を放置したままでは「集客都市宣言」と政策矛盾。  
ホームレスの人の多くは仕事をし社会復帰を望む  
「普通の人」。  
大阪市だけでも年間300人ちかくが不自然死している。  
これを放置することは人権問題。  
当委員会では人道的な立場からホームレス問題に  
取り組んできた。

## (2) ホームレスの実態・実像

- ～ホームレスはどんな人たちのなか～  
ホームレスとは
- ・都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所として日常生活を営んでいる者。
  - ホームレスの分布 大阪府は全国一
  - ・全 国.....25,296人
  - ・大阪府.....7,757人
  - ・大阪市.....6,603人
  - 年齢
  - ・平均年齢.....55.9歳
  - 生活場所
  - ・公園.....48.9%
  - ・河川敷.....17.5%
  - ホームレスは普通の人
  - ・6割は何らかの仕事で収入を得ている。
  - ・直前は常勤・自営業が4割。
  - ・自立希望が6割(今のままで良いは1割強)。

### ～ ホームレスの声 ～

- ・ホームレス自身が必要としているもの：  
「仕事」「すまい」
- ・半分以上が「働きたい」「自立したい」  
と思っている。
- ・「まず住所と電話がほしい。」
- ・心のケアが必要。
- ・「もう二度とホームレスには戻りたくない。」

## (5) 大阪市の現状と問題点

- ・H8頃から目立ちだした。
- ・あいりん地区を中心に野宿生活者が急増。
- ・H12～ 自立支援センター[大淀、西成、淀川]、  
一時避難所（シェルター）[大阪城公園、西成公園、（長居公園）]を設置。  
職業相談・指導が行われている。
- ・大阪府は除草・清掃作業に一定期間従事させる常用雇用促進事業を実施。
- ・しかし増え続けるホームレスに「焼け石に水」。  
就労による自立を果たした人は少ない。



具体的で実効ある支援策が求められる

## (3) ホームレス問題の経緯

### 国の取組み

- ・H6の新宿地下のホームレス強制排除事件から広く認知。
- ・H11に「ホームレス問題に対する当面の対応策」をまとめる。  
行政として初めての取組み。
- ・H14.8「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」制定。  
全国実態調査を実施。  
「基本方針」を策定。  
これに基づき、地方公共団体に支援計画の策定・実施を求める。
- ・H16.3 大阪府実施計画策定。
- ・H16.3 大阪市実施計画策定。

「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」は10年間の  
時限立法。  
財政上の措置については国の  
努力義務。  
問題の解決を見通すには  
いたっていない。

## (4) 問題解決の事例

### <東京都> 新たな取組み

- ・23区を5つのブロックに分け  
緊急一時保護センター、支援  
センターを開設。
- ・H16～低家賃住宅を2000室確保。  
アパート確保、就労支援、生活指導の  
人件費、検診等の事業費5億円と別枠で  
2.4億円で総予算7～8億円を確保。

### <名古屋市> ホームレス人口1,788人>

- ・自立支援センター、緊急一時宿泊施設  
を設置。

### <川崎市> ホームレス人口829人>

- ・緊急一時宿泊所を開設。
- ・定員は100名 今後250名に。
- ・自立支援センターを建設予定。

### <横浜市> ホームレス人口470人>

- ・自立支援センター、緊急一時宿泊施設  
巡回相談室など総合的な対策を講じる。  
大阪、東京都以外はホームレス人口が  
少ないので目立ちにくく対応しやすい。

### <韓国> 3年間で問題を解決

- ・収容施設をすばやく多数設置。
- ・官民一体の対応:3年間で2万 5百人に。
- ・ホームレスを「経済政策の失敗が  
生んだ犠牲者」ととらえる。
- ・自活支援プログラムを設置。
- ・キリスト教を背景とした心のケア。

## (6) 提言

### 1. ホームレスの正しい理解を!

ホームレス生活者の多くは「普通の人」。  
問題解決にはまず正しい理解が不可欠。  
学校や企業など教育の場を通じ  
正しい認識を促すべき。

### 2. 国は責任ある対応を!

問題に対する国の責任は極めて大きい。  
積極的な予算措置を講ずるなど政府全体として  
取り組むべき。  
2.5万人のホームレスを放置している国は日本だけ。

### 3. 大阪市は実効ある支援的対策を早急に!

#### 大阪府有地に3000人規模の保護施設を!

自立支援センターと緊急一時避難所は増え続ける  
ホームレスには「焼け石に水」の状態。  
3000人規模の施設で保護を。  
対象：第一期は主要河川と公園に起居する者全員  
（期間：2年）  
第二期は残りの中小公園やその他の場所に  
住む者（期間：3～4年）

#### 公的就労の提供を!

一日5時間、週2回で月3～5万程度の就労を保証。  
大阪市内の道路や公園の清掃など美化運動と  
つなげて市民の意識向上を図る。

#### 心のケアを!

ホームレスの自立や再ホームレス化を防ぐためには  
心のケアが大切。

#### 問題の解決に数値目標を!

大阪府は具体案を開示するとともに数値目標を  
設定すべき。

### 4. 地域全体での取組みを!

行政の支援システムを補完するきめの細かいサポートが  
必要。  
地域全体での取組みを。  
NPOの育成が急務。

### 5. 経済界は仕事出しを!

内職や軽作業などの仕事出しを通じて経済界も協力を。  
「ホームレス仕事センター」など  
行政とNPOが一体となった組織の設立が必要。